



印 西 市

議会 だより

第173号

平成27年(2015年) 8月

発行 千葉県印西市議会
編集 議会だより編集委員会
〒270-1396
千葉県印西市大森2364-2
TEL 0476-42-5111(代)
FAX 0476-42-5299
メールアドレス
gikai@city.inzai.lg.jp



印西の自然に触れられる「ぶらり 川めぐり」

川めぐりの旅で出会える
白鳥たち

第

2

回

定例会

平

成

27

年

会期6月4日
～6月25日

一般質問に議員16人が登壇

目 次

P2～5 一般質問(個人質問16人)

P6 政務活動費収支報告

P7 市民アカデミーの
みなさんが議会を体験

P8 常任委員会の審査内容

P9 議案と審議結果一覧

P10 発議案

請願

陳情

議会日誌

編集後記

委員長 金丸 和史
副委員長 稲葉 健
委員 小川 利彦
米井 重行
浅沼 美弥子

〃 〃 〃 〃

海老原 作一
近藤 瑞枝
中澤 俊介
山田 喜代子

印西市議会における改革すべき事項について検討を行い、議会改革を推し進めていくことを目的に設置されました。特別委員会では、まず、検討課題の項目の抽出を行い、今後、この検討課題について完了させる期間を定めて、議会改革の議論を行います。特別委員会の設置期間は、平成27年6月25日から平成29年5月31日までとなっています。

議会改革を推し進めるために

「議会改革推進特別委員会」を設置

第2回定例会は会期22日間で開催されました。今定例会には、条例の一部改正が3件、平成26年度補正予算2件、その他3件の計8議案のほか、議員発議による発議案が2件、諮問2件、報告9件、請願4件、陳情1件が提出され、それぞれ慎重な審議が行われました。なお、議案等の議決結果については、9ページに掲載しています。

一般質問

《一般質問とは》
議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

平成27年第2回定例会では6月8日から4日間、16人の議員による個人質問が行われ、市政全般について活発な議論が展開されました。ここでは紙面の関係でその一部を掲載いたします。

ここでの掲載記事は、各議員本人が作成したものを掲載しています。



質問 障がい者福祉について
① 特別支援学校卒業後の進路先について。② 障がい者福祉計画での位置付けについて。③ 子ども発達センターの現状と課題について。
市長 ① 本人の障がいの種類・程度を踏まえ、なるべくご希望に添えられるように努

力している。② 第4期印西市障害福祉計画では「地域社会で支え合い誰もが自分らしく安心して暮らせる街」を計画の目標に掲げ、障がいのある人の就労を支援するための施策として就労移行支援、就労継続支援事業所への受け入れ、また、障がい福祉課に就労支援相談員を配置し、相談や就労活動の支援に努めている。重点施策として、特別支援学校の卒業後の進路先の確保を図るために、市内の社会福祉法人等が受け皿となる施

- ◆その他の質問
- 芸術文化事業
- 市制20周年記念事業

個人質問

障がい者福祉 子ども発達センターについて

稲葉健議員

設計画についても、市として支援に努めていく。

健康福祉部長 ③ 子ども発達

センターでは、心身の成長や発達に心配のある就学前のお子さんを対象に、相談、指導、療育を通して、日常生活における基本動作を習得し、集団生活に適應することが出来るよう、適正な支援を行っている。課題としては、並行通園をする保育園・幼稚園・保育者との連携強化と考えている。

個人質問

市制20周年に、印西利根川花火大会の復活を

中澤俊介議員



質問 印西市は平成28年4月に市制施行20周年を迎える。合併後の本市における連帯感の醸成や、住民相互の交流等、住んでよかった印西市と実感できる記念事業を期待し、本市の見解を問う。

市長 印西市は、平成28年4月1日に市制施行20周年を迎えることから、この節目の年を市民の皆様とお祝いするための記念事業を実施する。現在、事業の基本テーマ、実施期間、事業の構成等の基本方針を策定しており、その方針に沿って、記念事業実施計画書を作成する。
再質問 これまでも提案してきたが、平成13年度以来、実に15年ぶりとなる、印西利根川花火大会の復活はどうか
企画財政部長 花火大会は、

記念事業における一つの核となる事業として考えている。
再質問 目玉の事業はどうか。
答弁 検討中の段階だが、記念式典、花火大会、なんでも鑑定団等を検討している。
再質問 国際交流事業は検討されたか。
答弁 市内中学生を対象に、海外に派遣する国際交流事業についても、事業候補の一つとして検討している。
再質問 財源の裏づけと、ふるさと納税の活用はどうか。
答弁 記念事業の財源は、基本的には、ふるさとづくり運営基金を活用し、ふるさと納税も活用したいと考えている。



① 運賃値下げに対し、市長が主張した強い姿勢での交渉の結果、今年2月、運賃は値上げとなった。鉄道会社と信頼関係を築くことの重要性をどう考えるか。② 県との関係をどう考えるか。③ 利用者が増えるか。④ 都市建設部長 設計の見直し作業を平成29年度までに完了

後もさらに増加する印西牧の原駅でのアクセス特急停車は、市にとって有益であり必要ではないか。
市長 ① 鉄道会社と協働し推進していく。② 関係を強化する必要がある。今後、連携を図っていく。
企画財政部長 ③ 様々な機会を捉え、京成電鉄株式会社と引き続き働きかけていく。

- ◆その他の質問
- 通学路・通園路の安全確保

個人質問

印西牧の原駅北口郵便局 開局決定は本当か

近藤瑞枝議員

し、平成30年度に工事に着手、平成34年度の供用開始予定である。

質問3 印西牧の原駅北口の郵便局開局について、平成24年6月議会において「開局に向けた条件整理・検討作業を行っている」との答弁を受け、期待が高まった。それから3年経つが、状況はどうか。

環境経済部長 日本郵便株式会社からは、現在も条件整理や検討作業を行っているという報告は無い。

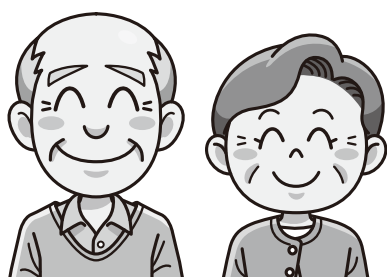
個人質問

10年後をみた高齢化対策 コミュニティ政策を

増田葉子議員

質問1 印西市の高齢者率が初めて20%を超え、10年後には28・6%となり、要介護者は現在の1・5倍以上になると予測されている。そのとき高齢者は地域でどのような暮らしを強いられるのだろうか。今、最も優先して取り組むことは何か。
市長 地域で支え合える仕組みづくりが必要。新たな担い手を育成し、地域づくりを再優先に取り組み。
再質問 現在、福祉の専門職はどの部署に何人いるのか。
健康福祉部長 どんな仕組みをつくるか意見を参考に早急

に検討していきたい。
質問3 学校適正配置審議会が設置された。学校は子どもたちの学びの場であるとともに、地域コミュニティの核である。コミュニティ政策の面からも検討されているか。
市民部長 学校適正配置の結果に応じてコミュニティ活動の支援をしていく。



◇市内図書館6館（大森、小林、小倉台、そうふけ、印旛、本埜）

個人質問

国民健康保険税について

伊藤真一 議員

質問 国民健康保険税（国保税）について①滞納している世帯は。②国保税未納で保険証を返した世帯数は。③国保



税の負担が重過ぎる場合、どの様に考えているか。④一般会計、または財政調整基金からの繰り入れで負担軽減はできないのか。⑤国保加入世帯の所得階層で割合が多い階層は。⑥保険証を返した世帯の所得階層で割合が多い階層は。

市長 ①平成27年5月現在、約2700世帯である。②平成27年3月現在、154世帯である。③所得状況に応じて、軽減措置を講じている。④国保制度の財政運営について

は、国保税や補助金、交付金で賄うものとされており、負担軽減のための繰り入れは、難しいものである。

市民部長 ⑤所得が100万円以下で45%、200万円以下で25%、300万円以下で14%、300万円以上で14%である。⑥所得が100万円以下で64%、200万円以下で22%、300万円以下で8%、300万円以上で5%である。

◆その他の質問

○踏み切り通行時の安全性改善
○木下駅、小林駅の利便性改善

個人質問

板倉市長の
これからの市政運営について

金丸和史 議員

質問1 私費で行った欧州旅行をなぜ広報「いんざい」で掲載したのか。

市長 私費の渡航であつても、市に有益な活動と考え、市の広報紙でお知らせした。

質問2 公費である広報紙を使ったことは何ら問題ないか。

市長 特別号については批判的な意見も多く、今後は適切に広報を発行していきたい。

質問3 欧州旅行の際、公用車は一切、使用しなかったか。

市長 完全な私的活動ではな

いとの認識から公用車を成田空港まで使用した。

質問4 公務とは言い難いと思えるが、問題ないのか。

市長 今後は、議員のご指摘の点も踏まえ、公用車の使用は慎重に判断していきたい。

質問5 成田までの公用車には同乗した者はいたか。

市長 同乗した者がいた。

質問6 県議会議員の選挙期間中、公職選挙法に違反する事例はなかったのか。

選挙管理委員会事務局長 駅頭や街頭において、法定外の

のぼり旗の掲示やビラを配付する行為が見受けられ、注意喚起をし、警察へ通報した。

質問7 オリンピック誘致の報道の仕方は問題なかったか。

市長 市民に混乱を招いたことは冷静に考えるべきだった。7月1日号で正確に広報する。

◆その他の質問

○女性消防団
○医療等連携計画の策定
○国民健康保険の広域化など

個人質問

学校適正化への対応は

板橋睦 議員

質問 教育問題について。学校適正化について。

教育長 印西市学校適正配置審議会委員については、大学の教授や校長などの教育関係者、民間企業の経営経験者、



他自治体における学校適正配置の実務経験者、計6名を委員として委嘱した。

市内小・中学校へのアンケートについては、教育委員会としては複式学級が生じていたり、学年が欠けている学校について、早急に保護者の意向を確認し、対応を検討する必要があると判断したことから、昨年度末、船穂小学校、永治小学校、宗像小学校、本埜中学校の4校の保護者に、学校規模に関するアンケート調査を実施した。

適正化に向けての今後のスケジュールについては、今年度は審議会を7回開催し、年度内に答申をいただく予定である。

また、答申後のスケジュールについては、学校適正配置の基本方針及び地区別の実施計画を策定し、住民説明会などを経て学校適正配置を実施していく予定である。

◆その他の質問

○教育問題（プール開放・新学校給食センター・エアコン設置）
○発作下町内会からの要望（金山落し堀の改修・関梓橋へ歩道の増設）

個人質問

動きが見えた空家対策
もっと高めよう防災意識

海老原作一 議員



質問1 市独自の空家対策条例制定の必要性について。

都市建設部長 空家等対策の推進に関する特別措置法では、防災・衛生・景観面で住

民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている空家の所有者に対し、市町村は指導・勧告及び命令ができることになり、本法律内での対応がとれるものと考えている。

再質問 特定空家に対する措置について。

答弁 特定空家と認められた場合、職員の立入調査ができ、必要な措置を履行しないと、または期限内完了の見込みがない場合は、行政代執行ができる。

質問2 全市一斉防災訓練を

実施し、防災意識を高め、課題の抽出を行ってはどうか。

総務部長 全市域において、自主防災組織が設立されていない事、防災意識のばらつきも考慮し、現在、ひとつの中学校区における防災訓練を実施している。

再質問 地域防災リーダー養成や啓発活動について、市民との共同事業を考えるとどうか。

答弁 市は、地域社会の様々な課題解決に向けて、市民活動団体等の企画・提案に基づき、まちづくりを推進する「企画提案型事業」を募集していることから、制度の活用を検討していただきたい。

「いんざい市議会だより」の1面に
掲載する写真を募集しています。

【題 材】 印西市の四季折々の風景
【応募資格】 市内在住、在勤または在学の方
詳細については議会事務局までお問い合わせください。

《議会を傍聴してみませんか》

次の定例会は、8月31日(月)～9月30日(水)の会期予定です。開会は午前10時となりますので、5階議場にお越しください。また、インターネットでも議会中継（生中継及び録画中継）をご覧いただけます。なお、都合により変更になる場合もあります。詳細については、お尋ねください。



個人質問

市民サービスの向上について

浅沼 美弥子 議員

質問1 婚姻届等を工夫し、記念として手元に残せるようにできないか。

再質問 受取証明書はどうか。

市民部長 他市等で採用しているものを参考に、当市においても工夫できるものがある。



質問2 窓口におけるプライバシー保護策を講じる必要はないか。

総務部長 相談内容の会話が他に漏れないような、市民の立場にたったきめ細やかな保護策の対応について、先進事

例を調査研究する。

質問3 スマートホンやタブレットへ広報紙を自動配信するサービス「i広報紙」。利用料は無料で運用に係る市の負担もない。5月1日現在、全国169の自治体で導入されている。導入の考えは。

総務部長 幅広い世代に向けて発信できる手段として有益と判断し、早期のアプリケーション提供に向け導入の準備を始めたいと考えている。

◆その他の質問

- 道路等の維持管理
- 都市農業振興基本法
- いじめ防止の取り組み
- 改正地方教育行政法

個人質問

公共交通・教育の充実とイノシシ被害対策は

岩崎 成子 議員

質問1 交通政策課を新設した意義について伺う。

市長 公共交通の充実、喫緊の課題である。課題への取り組みの強化と総合的な交通政策の推進を図るため、交通政策課を新設した。

再質問 交通不便地域解消のため、本気で対応していただけか伺う。

答弁 交通不便地域・交通弱者の皆様の切実な願いを受け、来年度予算にそれなりの対応をして進めていきたい。

質問2 外国語教育における本市の取り組みは順調か。

教育長 本年度、1名増員し11名のALTを市内の小中学校に派遣し、小学校では高学年のみならず、低学年も英語に触れる機会を持つことができています。児童生徒は、コミ



ュニケーションする喜びや大切さを学習するとともに、外国の文化と自国の文化の違い等についても関心を寄せ、学習の意欲化につながっていると考えている。

質問3 鳥獣被害対策実施隊の設置についての考えは。

環境経済部長 印西猟友会と調整を図りながら、調査・研究を進めているが、まずは、捕獲数を低下させないためにも、捕獲員の確保に努めていきたい。

◆その他の質問

- 生活道路の修繕
- 教材等教育備品の整備は充分であるのか他

個人質問

農作物の被害を防ぐために

櫻井 正夫 議員

質問 イノシシの被害状況はどうか。

環境経済部長 千葉県で公表している「野生鳥獣による農作物の被害状況調査」では、印西市のイノシシによる農作物の被害額は平成22年度141万円、25年度は303万9



000円である。イノシシによる農作物の被害は、印旛地区、本埜地区において、水稻やイモ類等の被害報告がある。近年では、生息区域の拡大とともに、印西地区でも水稻やイモ類に加え、トウモロコシやタケノコの被害報告も受けている。

再質問 イノシシの捕獲実績と協力猟友会の会員数は。

答弁 平成26年度の捕獲実績は195頭、25年度実績と比較すると28頭の増加である。印西猟友会の会員数は平成27

年4月1日時点で30名である。

再質問 今後も防護柵の一つ、電気柵は続けるのか。

答弁 農作物の被害防止対策は、イノシシが農地に侵入することを未然に防ぐ電気柵の設置が効果的なため、地域の方々と協力し、推進していきたいと考えている。電気柵については、平成26年度までに8地域で約21・6キロメートル設置し、今年度は5地域で18キロメートルの電気柵を設置する予定である。

◆その他の質問

- 旧印旛村所有地の土地利用
- オリンピック会場誘致

個人質問

買い物難民と通学路安全確保について

玉木 実 議員

質問1 買い物難民の対策

市長 市ではコモディイイダ撤退の知らせを聞き、生活利便施設は必要不可欠であると



の認識から、ショッピングセンターを管理運営する株式会社千葉ニュータウンセンターに対して、コモディイイダ高花店の存続交渉や、新たな施設の早期誘致など、地域の方々が不便を来さぬように積極的な対策を講じるように要望し、最善の努力をしていくとの回答を得た。

質問2 学童通学路の安全確保について。

教育部長 市では交通安全教育は重要な柱と捉えており、全ての小・中学校において印



西警察署及び市民安全課、印西市交通指導員と連携し、交通安全教育を実施している。PTAや地域ボランティアの協力で通学路での交通安全指導を実施し、安全確保に努めている。

市民部長 道路交通法が改正されて従来も自転車の安全教室は実施されていたが、毎月10日の交通安全の日及び15日の自転車安全利用の日では、印西警察署や交通安全指導員と連携して啓発に努めている。

お知らせ

請願・陳情の提出はお早めに

請願・陳情書はいつでも提出できますが、定例会ごとに提出期限をもうけ、審議を行っています。提出期限については、議会事務局にお問い合わせください。

一般質問の閲覧

平成27年第3回定例会(9月議会)で予定されている一般質問(代表・個人)の内容は、8月29日(土)以降ホームページで閲覧できます。

平成26年度 政務活動費収支報告

政務活動費とは…

「印西市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として、議会における会派に対し交付されるものです。
交付額は1人当たり年額36万円（年度内に異動があった場合は、月割りで交付）を会派の所属議員数に応じて交付しています。

（平成26年4月～平成27年3月）（単位:円）

会派名・ 所属議員	項 目	交付額	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	資料作成費	資料購入費	人件費	計	返還額
北 総 志 政 会	藤代武雄・近藤瑞枝・酢崎義行・ 中澤俊介・小川義人	1,800,000	243,045	0	1,225,000	97,646	130,640	0	0	1,696,331	103,669
昂（すばる）	松本多一郎・岩崎成子・松尾榮子	1,080,000	273,020	0	531,354	94,088	125,293	31,237	0	1,054,992	25,008
新 政	板橋睦・海老原作一・軍司俊紀	1,080,000	280,819	89,062	526,426	3,540	34,645	98,539	0	1,033,031	46,969
公 明 党	橋本和治・浅沼美弥子	720,000	133,599	66,920	0	82,940	4,010	183,725	0	471,194	248,806
市 民	雨宮弘明・山本清	720,000	0	0	720,000	0	0	0	0	720,000	0
ひ び き	小川勇・金丸和史	720,000	133,608	0	0	0	0	27,144	0	160,752	559,248
も と の	大塚輝男	360,000	0	0	190,512	0	0	0	0	190,512	169,488
みんなの党クラブ	國嶋久善	360,000	0	0	360,000	0	0	0	0	360,000	0
如 水 会	上條公司	360,000	122,780	0	62,400	0	49,149	11,880	0	246,209	113,791
日 本 共 産 党	山田喜代子	360,000	0	0	358,183	1,817	0	0	0	360,000	0
計		7,560,000	1,186,871	155,982	3,973,875	280,031	343,737	352,525	0	6,293,021	1,266,979

※政務活動費収支報告書は市役所1階行政資料コーナーで閲覧できます。

使途項目（解説）

- 調査研究費…会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
- 研 修 費…会派が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費
- 広 報 費…会派が行う活動及び市政について住民に報告するために要する経費
- 広 聴 費…会派が行う住民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
- 資料作成費…会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
- 資料購入費…会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
- 人 件 費…会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費

※交際費的（慶弔費等）な経費や政党活動、選挙活動などには支出することはできません。



市民アカデミーのみなさんが

模|擬|議|会|を|体|験|



～議会だより編集委員が取材しました～



◆議長の議事進行のもと開催

7月16日、平成27年度の市民アカデミーの皆様が模擬議会の体験で印西市議会を訪ねられました。当日は、実際の議事進行を議員の立場になって市議会の仕組みを学んでいただきました。

当日は、議会事務局から印西市議会の仕組みなどについて説明を受けられ、市民アカデミーの皆様から議会についての質問が寄せられ、議会に対する理解を深めていただきました。市民アカデミーのメンバー26名全員が本会議場の議席に着き、模擬議会に臨みました。

なお、議案として提出された「議会の仕組み」について、市長役の議会事務局職員から提案説明を受けた後、質疑応答及び感想を含めて約1時間程度の議論が展開されました。

主な内容は、請願と陳情の違いについてということ、請願のメリットについて質疑が出され、市議会さながらの模擬議会でした。

請願は紹介議員が必要であり、陳情にはそれがないという答弁を行っていました。

また、模擬議会終了後は場所を委員会室に移して、市民アカデミー有志の方々と議会だより編集委員会のメンバーとの間で、模擬議会の体験の感想や市議会全



◆議案の説明を聞く市民アカデミー議員



◆副議長より模擬議会の感想

般にわたること及び議会だよりの内容などについて、意見交換をさせていただきました。

※印西市市民アカデミーとは：市民の生涯にわたる学習を支援し、学び合いによる仲間づくりを進め、学習効果を活かし、まちづくりに生きがいをもって取り組むことのできる人材を育成することを目的としています。

市民アカデミー有志の方々との意見交換

模擬議会体験の感想

- 緊張した。議場の雰囲気なのか、しっかりと発言できないような威圧感みたいなものを感じた。
- 緊張したが、議会を身近に感じることができた。定例会を傍聴してみたい。
- この市民アカデミーという機会を通じて、議会を知ることができて良かった。
- 新鮮味があった。議会を身近に感じることができたので、傍聴してみたい。
- 議会運営の仕組みがわかった。

市議会へのご意見など

- 印西市の課題は、ごみ行政、緊急医療、北総線の運賃、小・中学校へのエアコン設置、地域産業、危機管理、高齢者福祉などの課題があると思う。解決に向けて取り組んでいただきたい。
- 定例会の議案を、なるべく早く知らせてもらいたい。
- 昭和52年に当時の印西町に引っ越してきたが、着実に市の形態を持ちつつあると感じている。
- 中野区から引っ越してきたが、市役所の方がとても親切である。
- 印西市の課題を的確に質問していただきたい。
- 住みよさランキングが4年連続1位であるが、文字通りそのようなまちにしていきたい。



議会だよりへのご意見

- 議会の議論での賛成・反対の意見を掲載してほしい。
- 議員の個々の表決結果を掲載しているところはわかりやすく、評価したい。
- 印西市の課題について掲載してもらいたい。

～議会だより編集委員として～

- ご意見を形にできるように、より一層、紙面づくりや情報発信に努めていきたい。
- 小学生や中学生の模擬議会も企画できればと感じた。
- 市民アカデミーとして、印西市の課題を具体的に指摘してもらいたい。

常任委員会の審査

一部の議案について、所管の常任委員会に付託し、審査を行いました。6月15日に予算審査常任委員会、16日に総務企画常任委員会、17日に文教福祉常任委員会をそれぞれ開催しました。

ここでは、紙面の関係により、委員会で行われた議案の主な質疑及びその答弁の一部について掲載します。

世界陸上キャンプ地 順天堂大学に補助金

予算審査常任委員会

【企画事務に要する経費・シティセールズに要する経費】

【内容】2015年世界陸上競技選手権大会北京大会におけるアメリカ代表チームのキャンプを順天堂大学で行うことに決定したことに伴い、順天堂大学に補助金を支出するもの。

質疑 世界陸上に関する順天堂大学への補助金算定の根拠と補助率は。

答弁 企画事務に要する経費

として、アメリカ代表チーム及び来訪者が利用できる無線ネットワークWiFiの整備及び維持管理費、事前キャンプ期間中に実施される記録会の開催に要する経費として補助するものである。

補助率については、2分の1以内としている。

質疑 シティセールズに要する経費の内容は。

答弁 アメリカ代表チームへ

の、歓迎の気持ちとシティブロモーションの意味を含めて、歓迎用の看板設置と、記念品を贈ることに伴う増額補正である。

【審査結果】

●平成27年度印西市一般会計補正予算（第2号）〈可決〉

●平成27年度印西市介護保険特別会計補正予算（第1号）〈可決〉

個人情報保護条例の一部改正

総務企画常任委員会

【印西市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について】

【内容】行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の公布により、番号制度が導入されることに伴い、個人番号をその内容を含む個人情報、情報提供等記録及び個人情報ファイルについて所要の規定の整備を行うもの。

質疑 市民にとってのメリットはあるのか。

答弁 番号制度については、社会保障、税、災害対策等に限定されているもので、まず社会保障、税に係る添付書類の削減や、行政手続が簡素化され、市民の負担が軽減される。

また、情報提供等記録開示システムで、市民はインターネットから行政機関が持っている自分の情報について、それをいつ、誰が、なぜ提供したのかという情報を確認できるようになることや、行政機関からの様々なサービスのお知らせが受け取ることができるよう、市民の利便性の向上が図られる。

質疑 情報漏えいがあった場合の対策は想定しているか。

答弁 情報漏えいはあってはならないことだが、その対策としては、ネットワークの遮断、システムの停止を速やかに行い、被害の拡大を防ぐための対策を講じる。漏えいした情報の特定や原因の究明、市民への広報などの措置も必

要だと考えている。

質疑 施行日が10月5日となっている。今後のスケジュールは。

答弁 個人番号の付番、通知が10月5日から開始され、平成28年1月1日より情報ネットワークシステム及びマイナポータルの運用が開始される。国の機関間の連携開始は29年1月予定、地方公共団体の連携開始が29年7月という予定である。

【審査結果】

●印西市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について 〈可決〉

●財産の取得について（消防団車両） 〈可決〉

木下学童クラブの位置の変更

文教福祉常任委員会

【印西市立学童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について】

【内容】印西市立木下学童クラブの位置の変更と、その管理を指定管理者に改めるもの。

質疑 市直営から指定管理者制度に移行する利点は。

答弁 民間業者のノウハウを利用した、これまで以上の効率的で質の高いサービスが期待できる。また、保険料等の徴収を指定管理者自らが行うことにより、会計事務の効率化が図られる。

市においては、人事管理などの事務量軽減が図られるものと考えている。

質疑 今後のスケジュールは。

答弁 まずは募集要項の説明会を行ない、秋頃に指定管理者を公募する。10月から11月に指定管理者選定委員会に諮り、12月議会に議案の上程を行なう。

質疑 建物の移設に伴う建築スケジュールは。

答弁 現在、入札手続き中であり、業者決定後、7月中旬に契約を締結し、来年2月頃に完成予定である。

質疑 位置が変更することに伴う、保護者への説明はどうなっているのか。

答弁 5月に保護者への説明会を開催している。今後は事業者、指定管理者が決定した

段階で、再度、保護者への説明、意見交換等の場を設ける予定である。

【審査結果】

●印西市重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について 〈可決〉

●印西市立学童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 〈可決〉

●財産の取得について（牧の原学校給食センター調理機器一式） 〈可決〉

●財産の取得について（印旛学校給食センター調理機器一式） 〈可決〉



議会日誌

5月

- 15(金) 平成27年第1回臨時会
- 19(火) 我孫子市・印西市まちづくり連絡協議会総会
- 25(月) 議会だより編集委員会
- 26(火) 印旛沼水質保全協議会通常総会
- 27(水) 関東市議会議長会定期総会
- 28(木) 議会運営委員会
正副委員長会議
会派代表者会議

6月

- 2 (火) 議会運営委員会
- 4 (木) 平成27年第2回定例会(～25日)
議会だより編集委員会
全員協議会
- 11(木) 全員協議会
- 15(月) 予算審査常任委員会
- 16(火) 総務企画常任委員会
- 17(水) 全国市議会議長会定期総会
文教福祉常任委員会
- 18(木) 議会運営委員会
建設経済常任委員会
- 24(水) 議会運営委員会
正副委員長会議
- 25(木) 議会改革推進特別委員会

7月

- 2 (木) 印西地区衛生組合臨時会
議会運営委員会
- 3 (金) 印西地区消防組合議会臨時会
成田線活性化推進協議会総会
- 7 (火) 議会だより編集委員会
- 9 (木) 千葉県北総地区市議会正副議長会定例会及び視察
研修会(～10日)
- 13(月) 印旛郡市広域市町村圏事務組合議会臨時会
総務企画常任委員会
- 14(火) 印西地区環境整備事業組合臨時会
- 16(木) 市民アカデミー議会体験
- 17(金) 長門川水道企業団議会定例会
議会改革推進特別委員会
- 21(火) 建設経済常任委員会
- 23(木) 議会だより編集委員会
- 30(木) 手賀沼水環境保全協議会総会

発議案

▼議会改革推進特別委員会の設置について **〈可決〉**

印西市議会における改革すべき事項について検討を行い、議会改革を推し進めていくことを目的として、議会改革推進特別委員会を設置するもの。

▼離婚・別居後の親子の断絶を防止する法整備に関する意見書の提出について **〈可決〉**

子どもが両親から愛情と養育を受け続けることが子どもの健全な発達にとって好ましく、長期的に子どもの最善の利益に資することとなること

請願

▼離婚・別居後の親子の断絶を防止する法整備と支援を求める請願(総務企画常任委員会・採択)

実効性のある面会交流が可能となるよう速やかに法整備を講じるよう関係機関に意見を提出すること。

また、印西市において、兵庫県明石市の取り組みを参考に別居・離婚後の親子の面会交流に対する公的支援体制・相談体制の充実を図るよう求めるもの。

▼日本を「海外で戦争をする国」にする「戦争立法」に反対する意見書提出を求める請願書(総務企画常任委員会・不採択)

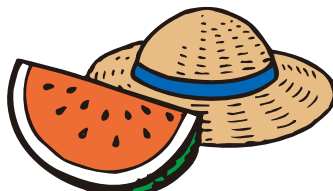
恒久平和を確立するため非核平和都市を宣言している印西市議会として、内閣総理大臣、衆議院議長および参議院議長に、憲法違反の「閣議決定」を具体化する立法措置Ⅱ「戦争立法」を行わないこと、および日本国憲法第9条を守り生かすことを求める意見書を提出するよう求めるもの。

▼印西市議会会派「市民」の政務活動費の返還を求める請願(総務企画常任委員会・継続審査)

印西市として、会派「市民」に対して、不正受給した印刷機賃借料にかかる政務活動費等について、年5%の利息を付けて自主返還を促し、これに応じない場合は、法的請求権を行使すべきと議決をするよう求めるもの。

陳情

▼地域区分に準じた介護報酬加算の見直しについて(文教福祉常任委員会・不採択)



編集後記

この6月定例会は、改選後の初定例会でありました。初当選した議員も数名が一般質問や討論で、登壇する機会を得たことは大変貴重な経験であったと思っています。

また、この議会だより編集委員会は、副議長、常任委員会及び議会運営委員会の副委員長で構成されております。

さらに、この編集後記も委員の持ち回りにより、書かせていただきますが、議員になって初めての体験となります。副議長が委員長に就任することとなっておりますので、副議長の下、わかりやすい紙面づくりや議会として新しい情報発信のツールについても、議会だより以外のものでも模索していきたいと思っております。

用語についても市民の方がわかるような用語を用いるよう工夫したいと思っております。

この委員会が「広報委員会」として機能できるような仕組みも講じてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

最後に、議会だより編集委員会副委員長として精一杯務めてまいりますので、何卒、よろしくお願いたします。

委員長 橋本 和治
副委員長 金丸 和史
委員 米井 重行
〃 岩崎 成子
〃 松尾 榮子